

貴重書で見る江戸・明治の朝顔

倉敷市中央二丁目の岡山大学資源生物科学研究所は大原奨農会農業研究所(大原農研)として1914年(大正3年)、大原孫三郎氏によって設立されました。氏は農業発展のために私財を投じて当時大変貴重だった農業関係の書籍を多く収集しました。これらの貴重図書は現在も研究所の史料館に保存されています。このような貴重図書に触れていただくために、今後様々な展示を企画していきます。

第一回目として、夏の風物詩である朝顔に焦点を当て、江戸から明治にかけて競って品種改良された「変化朝顔」を見ていただくことにしました。ぜひ一度色鮮やかで様々な形の朝顔をみて、江戸時代にタイムスリップしてみてください。またお子さんの夏休みの自由研究にもいかがでしょうか。

(馬 建鋒・史料館長)



展示期間 : 7月27日から9月30日(好評につき展示期間延長)

見学時間 : 9:00から17:00 (月～金) * 入場無料

場所 : 岡山大学資源生物科学研究所 史料館1階

お問い合わせ : 086-434-1204 倉敷市中央2-20-1(芸文館前)